

令和7年度第5回地域課題協議部会 記録

日時： 令和7年8月20日(水) 10:00～12:00

会場： 国立市役所3階会議室

出席者： 福祉サポートライン/エプシロン/なびい/みなも/たまぷらねっと/ハッピーテラス国立駅前/ともにーサポート/サプラ/猫日和/しょうがいしゃ支援課

議題

- ① 公募について
- ② WGの目的の整理、参加
- ③ 今後の部会とのスケジュールのすり合わせ

議論

① 公募について

- ・ 国立市より：全体会日程は10/21(火)18:00～
全体会での意見を反映させるとしたら11/20号の広報に掲載→2週間ほど応募期間設ける→選定→通知→WGスタートとなると、年明けくらいから開始ではないか。
応募が0だった場合、推薦枠を設けるなども視野に入れ検討してほしい。
- ・ 推薦枠という形は、当事者をフォローする形で良いのではないか
- ・ 意図としては、やる気がある人もいるが情報がいきわたるようにと思い公募を発案した

※事務局での話し合い

前回、広報に載せる文面を事務局で話し合いメールで周知する、と決まっていたのでは？
→公募をするとしたら、全体会での意見を聞く必要があるのではとなり、このスケジュールとなった

事務局は部会のまとめの役割。公募と推薦という話が出たが、それぞれWGの性質によって向き不向きが違うのではと話している。

市からの意見では、応募者がたくさんきた場合の選定基準なども考えて公募した方がよい。公募するかどうかはWGそれぞれで検討してはどうか、と話している。

※公募が決定かどうか、部会メンバーでも認識はちがう

改めて、公募は必須か？

- ・ 最初のWGなので、まずやっていくこと、進めて行くのであれば今回は推薦でもよいのでは
- ・ 今後は公募を視野に入れていけばよいのでは
- ・ すべてのWGが公募でなくてもよいのでは…WGで行う内容を先に決めてもよいのでは
- ・ 差別解消については公募が良いのでは
- ・ 公募/推薦その都度考えていくのが良いのでは…公募と責任はセット

- ・以前の部会の時は市が主体でやっていた。当事者部会は公募をかけたが実際はあまり来なかった。声掛けして面談したので落選はなかった。
- ・話し合いは部会、WGは作業…作業を具体的に決め、それに賛同した人が応募する前提
- ・WGで行う作業は細かく決めた方がよい。仕様書のようなものがあってもよいと思う
- ・WGで作業するので、選定する人もWGの人が良い。落選させる場合は理由も提示する必要がある。
- ・「差別解消」WGはくくりが大きくやることがイメージしづらい。細かく作業を決めていくとイメージがつくのでは
- ・公募は自立支援協議会の周知にもつながるのでは
- ・WGによっては応募したら全員参加でもよいのでは
- ・以前の部会は市がメンバーを選んでいたこともあり安心してできていたが、今回は誰が来るか分からない。まずは推薦でやっていくのもよいのでは
- ・公募にこだわる必要はないのでは
- ・内容やサポートの有無、性質(啓発的な、市民を巻き込むべき内容かどうか)にもよる

→先にWGについて詳細を検討していくこととなる

② WGの目的の整理、参加

- A) 登下校問題の実態調査(アンケート)
- B) ヘルパー不足(啓発、魅力発信)
- C) 差別解消(啓発)

A) 登下校問題の実態調査(アンケート)

- ・網羅的な実態調査をしようとだけ決まっている
- ・どういう目的でどういう対象に行うかがはっきりしていない(高校のスクールバス問題、知的障害者のサポート、移動支援の不足など)→メンバーの絞りこみができない
- ・調査を想定し、質問事項と対象を設定していくことが必要と考え、質問は「困っていること」「それに対してどう対応しているか」「要望」。対象は6~18歳全ご家族もしくは支給決定している方かどうか、となると思う
- ・学校や事業所にはアンケートを取らないのか?…自立支援協議会は当事者の困りごとを解決する場であり、事象が起こっている背景を知っていくのは「分析」の段階。まずは「実態調査」を行い、その先第二段があってもよいのでは

※配布方法について

- ・市がアンケートを配布は難しい。予算?(実施が年度によってもちがう)
- ・対象が支給決定しているか否か…学校を通してできるのか?
- ・保護者のアプリを使用できないか
- ・当事者代表に話を聞くなどもアンケートに+で行ってもよいのでは
- ・アンケートは数の説得力があるので一定数必要

- ・教育の協力が求められるか？…試していく。断られても伝えられることにはなる。

→全体会に出すのに WG メンバーをもう少し詰める必要があるため、③の議題へ

③ 今後の部会とのスケジュールのすり合わせ

事務局が各 WG にはいるかどうか…“事務局”として公平性を保つために入る必要がある
各 WG メンバー(希望)

- A) 登下校問題の実態調査：みなも・エプシロン・くにたち発達支援センター・ハッピーテラス
- B) ヘルパー不足：なびい・サプラ
- C) 差別解消：サポートライン・たまぷらねっと・ともにー

決定事項

① 公募について

各 WG の性質により公募/推薦の向き不向きがあるため、先に各 WG について詳細を固める

② WG の目的の整理、参加

(ア) 登下校問題の実態調査(アンケート)

目的：網羅的な実態調査

手段：学校を通じて行う

メンバー：公募なし。教育委員に声をかける

アンケートの対象：市内在住の 6～18 歳 一人での登下校に不安のある方

③ 今後の部会とのスケジュールのすり合わせ

事務局 9/3(水)10:00-11:00 国立市地下食堂

次回 9/10(水) 10:00～ 国立市役所 3 階会議室

次々回 10/15(水) 10:00～←追加